

チームワーク
フットワーク
ネットワーク

麓っ子

令和3年3月24日号

鳥栖市立麓小学校

校長 西川 哲也

TEL 0942-83-2013

<https://www.education.saga.jp/hp/fumoto-e/>



ホームページ

100名が旅立ちました【卒業式】



3/19(金)、やわらかな春の日差しのもと、100名の卒業生が本校を旅立って行きました。その晴れ晴れとした表情からは小学校での学習を修了した喜びと中学校へと進む希望が感じられました。きっとそれぞれに、しっかりと新たなスタートを切ってくれることでしょう。これからの一人一人の成長と活躍を心から願っています。

校長の式辞の中では、宮澤章二さんの「出発の意味」という詩の中から次のような一節を卒業生に贈らせていただきました。

自分の足で 一人の実力で 山に登る
一步一步 どんな天景がひらけるのか
苦しんで登ってみなければ わからない
「進もう」と決意するからこそ 道がある
自分の道は 自らの努力でしか歩けない
それを身をもって確かめるための 出発

花たちは開く行為によって光に出会える
鳥たちは飛ぶ行為によって 風と遊べる
人もまた意欲的に出発する行為によって
それぞれが 本当の「希望」に出会える

子供たちは地域の宝です。小学校は卒業しましたが、今後もどうか引き続き、見守りと励ましの声かけをいただきますようよろしくお願いいたします。



下級生とのお別れ式

卒業式前日。6年生と下級生(1~5年生)が学校で会えるのが最後となったこの日、お別れ式を行いました。全校での集合ができないので、体育館で5年生と6年生がお別れ式をする様子を、Zoomを使って4年生以下の教室に映像配信する形をとりました。

式では、5年生と6年生の代表児童が互いに感謝や励ましのメッセージを送り、最上級生としてのバトンが引き継がれました。その後、6年生が下級生の



各教室の前を通り、拍手で見送られながら自分たちの教室に戻りました。中にはお別れする寂しさからか、感極まって涙を流す6年生や下級生もいて、感動的な式となりました。

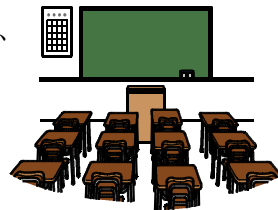
更なる成長を願って

本日、修了式が無事に終わりました。保護者・地域の皆様には一年間本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

さて、この一年間のお子様の成長ぶりはいかがでしたでしょうか。一年前を思い起こすと、身長や体重のように目に見える成長だけでなく、できるようになったことがたくさんあることに気付かれるのではないのでしょうか。

3月は、学校でも一人一人の子の成長を見つめるとても大切な時期でした。本校では、できるだけ個に応じた教育を進めるために、指導方法改善教員を配置して、学級担任と一緒に授業を行ったり、つまずきのある子への個別指導を行ったりしてきました。こういった指導を通して、個々の学力の向上はもちろんのことですが、多くの教師の目で子供たちの様子を見ることにより、子供たちが自分のもつ力をできるだけ多く発揮できるように努めてきました。そして担任は、学級の子供たちがこの一年を通じてどれだけ成長したかを日々の記録をもとに確認し、子供たちのこの一年の成長を、進級を機に更なる成長へとつなげていきたいと思っています。

一年が終わる今月末には、ぜひご家庭でもお子様と一緒にこの一年間の成長を振り返ってみてください。私たち教職員も、子供たちにあった指導の方法や内容を常に模索していきます。保護者の皆様や地域の方々と一緒に考え、共に子供たちの成長に喜びを感じ、一人一人にあった教育をよりいっそう進めていきたい。そう考えています。



4月からのスタートに向けて

子供たちにとって春休みは、新しい学年に上がることへの期待もあり、ワクワクした気分になることと思いますが、新学期への大切な準備期間でもあります。通知表をもとに学習の振り返りを行うと共に、生活の約束「春休みのくらし」を守り、交通事故や不審者被害などに絶対に遭わないように、各ご家庭でもご指導くださいますようお願いいたします。また、新型コロナウイルス感染症予防(手洗い・うがい)についても引き続き心掛け、新学期にはどの子も元気にスタートが切れようご配慮をよろしく願います。

今回が、令和2年度の「麓っ子」最後の発行となります。学校の教育方針や子供たちの様子などを、できるだけ分かりやすく保護者や地域の皆さまに届けたいと思いながら発行してきました。不十分な点もあったかとは思いますが、お付き合いいただき誠にありがとうございました。



